

人の動き方・働き方が変わる大丸有 (丸の内二重橋ビル エレベーター行先予報システム)



ELE-NAVI

1 I Dカードでゲートを通過

セキュリティゲート

エントランスで、ゲートを通行（カード操作）すると、**利用者の行先階別のエレベーターが自動的に配車**される。また、ゲート上にサービスするエレベーター号機を表示し、利用者を誘導する。

2 ゲート表示器に表示されたエレベーターに乗車

A号機 B号機 C号機 D号機

ホールランタン 乗車操作盤

エレベーターを確認して乗車する。
※乗り遅れの場合はエレベーターホールの乗場操作盤を操作。
※エントランス階のUP/DNボタンは不要。

3 行先階自動登録

カゴに乗車すると目的階ボタンは自動登録される。
※エントランス階ではカゴ内の行先ボタンは押せない。
(途中階で停止して以降は操作可能となる。)

竣工年	2018年10月
所在地	東京都千代田区丸の内
用途	事務所・商業等
敷地面積	9,935.02㎡
延床面積	174,054.18㎡
階数	地上30階/地下4階
構造	SRC、S造

< 操作手順 >

- ①エレベーター動線上のセキュリティゲートでカードをかざし、カード情報から利用者の行先階を自動登録する。
- ②割り当てられた乗車号機が瞬時に表示され確認し、カードが認識されるとゲートが開きゲートを通過する。
- ③エレベーターホールでは上り・下りのボタンを押す必要がなく、エレベーターを確認して乗車する。
- ④行先階は自動登録されておりボタンを押さずに行先階まで運行可能。

< 効果 >

- EVの停止階数制御により、EVの乗車時間・待ち時間が削減
⇒運行効率向上により人の動き方・働き方が変わる
- 非接触による感染症対策



導入効果イメージ（東京ビルディング）

本建物で導入されたエレベーター行先予報システム（ELE-NAVI）

*について紹介する。

フラッパーゲートとエレベーターの連動で、乗るエレベーターを瞬時に割り当てられることで、ムダのない運行、ストレスフリーの運行、スマートな運行を実現。オフィスビルでは出勤時に人が集中し各階で人が降りるとエレベーターの運行に時間がかかるが、行先階ごとに利用者をまとめることで目的階までスムーズに移動することができる。

またwithコロナの時代に、エレベーターホールの人の滞留・エレベーター内での混雑・エレベーター釦操作を回避できるため、建物内での三密（密閉・密集・密接）回避にもつながるスマートなシステムである。

*エレベーター行先予報システム(ELE-NAVI)：三菱電機（株）製品名